

ウマノオバチ

Euurobracon yokahamae (Dalla Torre)

ハチ目コマユバチ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー 準絶滅危惧

選定理由

日本全土に広く分布するが、県内の個体数は少なく、希少種といえる。

形態

体長は15~24mmで、体全体は黄赤褐色をしており、腹部は暗褐色を呈することがある。長く伸びた産卵管は、体長の6.5~9倍に達する。

国内分布

北海道、本州、四国、九州に広く分布する。

県内分布

白山市、金沢市、旧高松町（未発表）、穴水町での記録がある。

生態

シロスジカミキリ幼虫の穿孔を見つけ、長く伸びた産卵管を挿入して幼虫体表面に産卵する。

生息地の条件

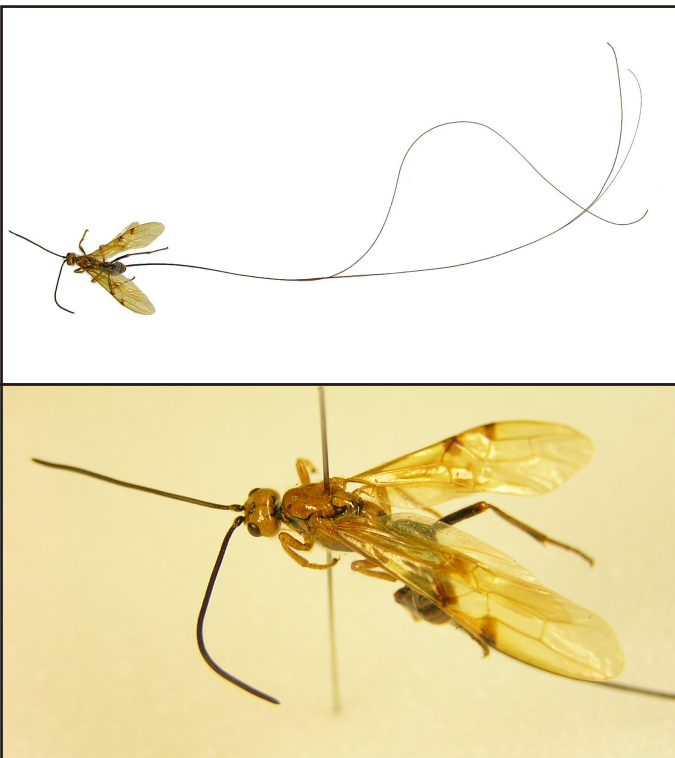
シロスジカミキリのすむ雑木林に生息する。穴水町の記録はクリ園内である。

生存の危機

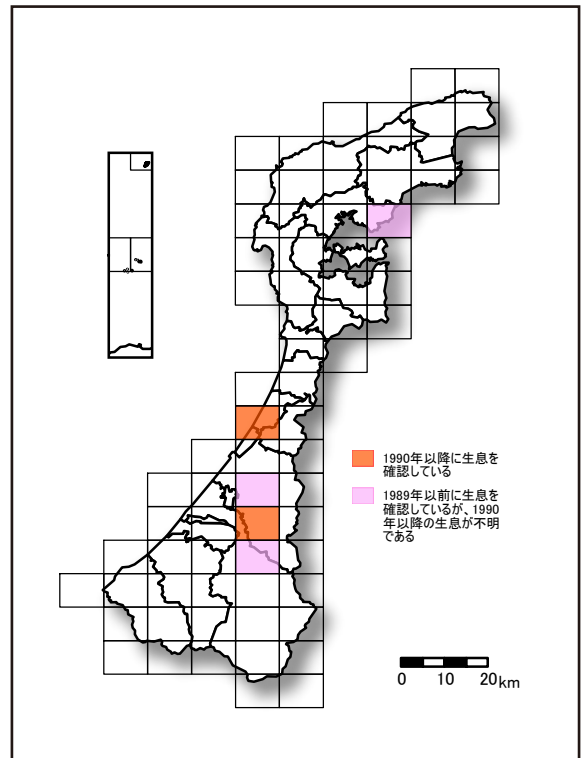
宿主のシロスジカミキリが里山の雑木林に生息するため、開発等により里山の広葉樹林が破壊されれば、本種の生息が危ぶまれる。(A)

参考文献

平嶋義宏ほか 2008. 新訂 原色昆虫大図鑑 第三巻 : 515. 北隆館. 東京.



標本提供者: 富樫一次



県内の分布